

2026 年 7 月 16 日
住友生命保険相互会社

住友生命、国産 AI 基盤モデル開発の Noetra へ出資 ～日本の生成 AI の競争力強化と住友生命の AI 戦略推進に向けて～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、Noetra 株式会社（以下「Noetra」）に出資を行いました。

Noetra は、AI ロボットやフィジカル AI の開発基盤となる国産マルチモーダル基盤モデル※の研究開発に取り組む企業です。画像・動画・音声情報、物理特性などの実空間に関する情報を統合的に扱う AI 基盤モデルの開発を通じて、日本の生成 AI の競争力強化と産業競争力の向上を目指しています。

Noetra および国立研究開発法人産業技術総合研究所は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「AI ロボット・フィジカル AI を見据えたマルチモーダル基盤モデル開発事業」に採択されています。

住友生命グループは、ウェルビーイングインフラ企業として保険の役割・価値を上げ、万一の保障にとどまらず、お客さまのウェルビーイングに貢献していくという「拡・保険」の考え方のもと、様々な商品・サービス・取組みを提供しています。

本件出資を通じて、国産 AI 基盤モデルの研究開発を支援するとともに、AI 活用による提供価値の質を高め、社会全体のウェルビーイング、特にソーシャルウェルビーイングへの貢献を目指します。

※ テキスト、音声、画像、動画など、2つ以上の異なるモダリティ（データの種類）から情報を収集し、それらを統合して処理する AI システムを指します。異なるモダリティの情報を組み合わせることによって、より豊かな情報を処理し、より深い理解や 洞察ならびに高度な回答を得ることができます。

1. 出資の背景・目的

生成 AI をはじめとする AI 技術は、幅広い産業で急速に進展しており、今後、企業活動や社会生活における重要性が一層高まることが見込まれます。こうした中、国内における AI 開発力の強化や、産業ごとの課題に対応した AI 活用基盤の整備は、日本の産業競争力の向上に向けた重要なテーマとなっています。

Noetra が取り組む国産マルチモーダル基盤モデルは、産業現場におけるデータ活用や、AI ロボット・フィジカル AI の社会実装を見据えた基盤技術です。

住友生命グループ中期経営計画 2028 では、「人」の価値を最大化し、住友生命ならではの価値を生み出し続けるための基盤として AI を位置づけています。また、全社横断での AI 活用を推進し、顧客体験価値の向上、業務プロセスの高度化、人財価値の向上などに取り組むこととしています。

本件出資により、住友生命は、Noetra が進める国産マルチモーダル基盤モデルの研究開発を支援するとともに、当該事業の開発状況や AI 活用に関する知見を蓄積し、住友生命の事業における AI 活用推進につなげていきます。

2. 本件出資を通じて期待する効果

a. 国産 AI 基盤に関する知見の獲得

株主として、Noetra の研究開発計画や進捗に関する情報を把握することで、国産 AI 基盤の今後の動向や、生命保険業における活用を検討します。

b. AI 活用に関するネットワーク形成

幅広い業界の企業が参画する株主コミュニティを通じて、AI 開発・導入に関する情報交換や、異業種との連携可能性を模索します。

c. 住友生命 AI 戦略の推進

国産 AI 基盤モデルの研究開発を担う Noetra への出資を通じて、住友生命グループ中期経営計画 2028 で掲げる AI 活用戦略を一層推進し、AI 活用による価値創出と、お客さまへの提供価値の高度化につなげていきます。

3. Noetra の概要

会 社 名：Noetra 株式会社

所 在 地：東京都渋谷区渋谷 2-24-12

代 表 者：代表取締役社長 丹波 廣寅

設 立 日：2026 年 1 月 7 日

事業内容：国産マルチモーダル基盤モデルの研究開発、モデル開発で使用するインフラの検討

ホームページ：<https://www.noetra.co.jp/>

よくあるご質問

① この取組みの要旨は何ですか。

- ・住友生命が Noetra に出資し、国産マルチモーダル基盤モデルの研究開発を支援するとともに、住友生命グループの AI 活用戦略の推進に向けた知見を得る取組みです。

② Noetra はどのような会社ですか。

- ・Noetra は、日本の生成 AI の競争力強化と産業競争力の向上を目的に、AI ロボットやフィジカル AI の開発基盤となる国産マルチモーダル基盤モデルの研究開発に取り組む企業です。
- ・画像、動画、音声情報、物理特性など、実空間に関する情報を統合的に扱う AI 基盤モデルの開発を進めています。

③ この取組みは誰を対象としていますか。

- ・直接的には Noetra への出資ですが、将来的には、AI 活用による当社の商品・サービス・業務の高度化を通じて、お客さまや社会への価値提供の質を高めることを目指します。

④ どのような課題を解決しますか。

- ・国内における生成 AI の開発力強化や、産業現場で蓄積されるデータを安全かつ継続的に活用できる AI 基盤の整備は、日本の産業競争力向上に向けた重要な課題です。
- ・本件出資は、国産 AI 基盤モデルの研究開発支援を通じて、こうした課題への対応に貢献することを目指すものです。

⑤ 住友生命が出資する意義は何ですか。

- ・住友生命グループ中期経営計画 2028 では、AI を「人」の価値を最大化するための基盤として位置づけています。
- ・本件出資は、住友生命グループの AI 活用戦略を推進し、「なくてはならない」価値提供の質を高めるための取組みです。

⑥ 住友生命は Noetra の研究開発にどのように関与しますか。

- ・住友生命は株主として、Noetra の研究開発計画や進捗に関する情報を把握し、AI 活用に関する知見の蓄積や異業種との連携可能性の探索を進めます。
- ・個別の開発、研究内容への関与・範囲については、関係者間の契約や運営ルールに基づきます。

⑦ この取組みは拡・保険とはどのような関係がありますか。

- ・本件は、保険商品の提供そのものではありませんが、住友生命グループが AI 活用による商品・サービス・業務の高度化を進め、お客さまや社会への提供価値を高めていくための取組みです。
- ・万一の保障にとどまらず、お客さまや社会のウェルビーイングに貢献するという「拡・保険」の考え方に沿うものです。

⑧ どのウェルビーイング領域に貢献しますか。

- ・主たる領域はソーシャルウェルビーイングです。国産 AI 基盤モデルの研究開発支援を通じて、日本の産業競争力向上や AI 活用基盤の形成に寄与することを目指します。
- ・副次的には、当社グループの AI 活用によるお客さま体験の高度化を通じ、フィナンシャルウェルビーイングなどへの波及も期待されます。

⑨ 今後の展開は。

- ・Noetra の研究開発状況や株主コミュニティから得られる知見を踏まえ、住友生命グループの AI 活用戦略推進に活かしていきます。
- ・具体的なサービスの開発や活用領域については、今後検討していきます。

以上